

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月10日

上場取引所 大名

上場会社名 株式会社 菊川鉄工所  
 コード番号 6346 URL <http://www.kikukawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊川 厚  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部経理課長 (氏名) 倉井 有子

TEL 0596-36-2185

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,793	△22.7	△1	—	△19	—	△25	—
23年3月期第2四半期	2,320	153.7	177	—	200	—	105	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△2.02	—
23年3月期第2四半期	8.40	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	8,492	—	6,304	—	6,304	74.2
23年3月期	8,639	—	6,397	—	6,397	74.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 6,304百万円 23年3月期 6,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	1.00	—	2.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

期末配当予想につきましては、現時点では未定であります。

配当予想の修正については、本日(平成23年11月10日)公表いたしました「平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異および通期業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200	△3.4	65	△66.7	85	△64.8	80	△41.1	6.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成23年11月10日)公表いたしました「平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異および通期業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	13,200,000 株	23年3月期	13,200,000 株
24年3月期2Q	652,851 株	23年3月期	652,686 株
24年3月期2Q	12,547,266 株	23年3月期2Q	12,548,213 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) セグメント情報等 .....	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6
(6) 重要な後発事象 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における経済情勢は、中国やインドなどの新興諸国は着実な経済成長を果たしておりますが、欧州をはじめとする先進諸国につきましては、ユーロ並びに米ドルの信用が大幅に低下するなど、国際経済の低迷が明らかになっております。また、我が国では、去る3月11日に発生した東日本大震災による被害や放射能汚染並びに電力不足などが大きく取りざたされ、更に急速に進行する円高の悪影響も加わり、設備投資動向は国内外ともに総じて抑制傾向で推移しております。

このような環境のもと当社は、木工機械・工作機械メーカーとして、業績に関連の深い住宅産業やIT関連産業などの製造工程において、地球環境に配慮した設備提案に努めると共に、それらに対応する研究開発を進めてまいりました。

その結果、当社の第2四半期累計期間における売上高は、前年同四半期比22.7%減の1,793,985千円となり、損益面では営業損失1,498千円（前年同四半期は営業利益177,888千円）経常損失19,926千円（前年同四半期は経常利益200,703千円）、四半期純損失は25,317千円（前年同四半期は四半期純利益105,459千円）となりました。

### （2）財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は、前期末に比べ147,495千円減少し、8,492,081千円となりました。これは主に、現金及び預金が241,080千円増加したものの、投資その他の資産が234,329千円並びにたな卸資産が163,605千円それぞれ減少したことなどによるものであります。

負債につきましては、前期末に比べ54,277千円減少し、2,187,973千円となりました。これは主に、その他に含まれている前受金が108,660千円増加したものの、支払手形及び買掛金が75,866千円並びに退職給付引当金が86,184千円それぞれ減少したことなどによるものであります。

また、純資産につきましては、前期末に比べ93,217千円減少し、6,304,108千円となり、自己資本比率は74.2%となりました。

### （3）業績予想に関する定性的情報

今後の業績見通しにつきましては、我が国において、雇用情勢は引き続き低水準に推移しており、新設住宅着工戸数においてもその回復の実感は乏しく、また海外市場に目を向けても、欧州の経済危機や円高など為替相場の動向もあり、予断を許さない状況が続くものと思われまます。

このような経済環境のもと、当社といたしましては、地球環境保護や各種業界の新たなニーズにマッチした魅力ある製品の開発並びに拡販に努めると共に、内製化とコストダウンの拡大による変動費の圧縮、更には諸経費の削減を同時に推進し、経営体質と収益状況の改善を目指す所存であります。

また、先日発表させて頂きましたように、三重県伊勢市内に約30,000㎡の工業用地を新たに取得し、来春竣工を目標に新工場建設をする予定であります。

これは、既存の工場の老朽化対応・大型機械の作業効率改善による国際的なコスト競争力の向上・大規模な自然災害に対する備えなどを念頭においておりますが、今期業績に与える影響は軽微なものであると認識しております。

なお、業績予想に関する事項につきましては、本日（平成23年11月10日）公表の「平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異および通期業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」を併せてご参照ください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### （1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,358,663	4,599,743
受取手形及び売掛金	869,276	862,480
製品	391,685	161,350
仕掛品	207,254	264,883
原材料及び貯蔵品	166,242	175,342
その他	15,392	29,481
貸倒引当金	△1,375	△1,368
流動資産合計	6,007,139	6,091,914
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,069,478	1,069,478
その他(純額)	472,977	475,435
有形固定資産合計	1,542,456	1,544,914
無形固定資産	2,003	1,604
投資その他の資産		
投資有価証券	732,725	649,453
その他	359,177	208,120
貸倒引当金	△3,925	△3,925
投資その他の資産合計	1,087,978	853,648
固定資産合計	2,632,438	2,400,167
資産合計	8,639,577	8,492,081

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	409,961	334,094
未払法人税等	6,953	3,726
賞与引当金	70,000	67,600
役員賞与引当金	15,000	7,500
その他	394,051	531,721
流動負債合計	895,966	944,642
固定負債		
繰延税金負債	94,764	73,598
退職給付引当金	965,331	879,147
役員退職慰労引当金	244,810	249,160
資産除去債務	41,378	41,424
固定負債合計	1,346,284	1,243,330
負債合計	2,242,250	2,187,973
純資産の部		
株主資本		
資本金	660,000	660,000
資本剰余金	411,311	411,311
利益剰余金	5,447,047	5,396,634
自己株式	△207,042	△207,069
株主資本合計	6,311,316	6,260,876
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	86,010	43,232
評価・換算差額等合計	86,010	43,232
純資産合計	6,397,326	6,304,108
負債純資産合計	8,639,577	8,492,081

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,320,012	1,793,985
売上原価	1,411,135	1,246,827
売上総利益	908,876	547,157
販売費及び一般管理費	730,988	548,656
営業利益又は営業損失(△)	177,888	△1,498
営業外収益		
受取利息	6,776	4,653
受取配当金	8,219	7,914
助成金収入	25,639	17,471
その他	7,422	7,933
営業外収益合計	48,058	37,974
営業外費用		
支払利息	339	255
投資有価証券評価差損	7,670	15,435
為替差損	17,137	40,709
その他	97	2
営業外費用合計	25,243	56,401
経常利益又は経常損失(△)	200,703	△19,926
特別利益		
固定資産売却益	723	—
貸倒引当金戻入額	164	—
特別利益合計	888	—
特別損失		
固定資産除却損	30	430
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	40,305	—
投資有価証券評価損	22,301	5,153
減損損失	33,764	—
特別損失合計	96,401	5,583
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	105,190	△25,510
法人税、住民税及び事業税	1,077	1,077
法人税等調整額	△1,346	△1,269
法人税等合計	△269	△192
四半期純利益又は四半期純損失(△)	105,459	△25,317

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、機械の製造並びに販売事業において単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

重要な設備投資

当社は、平成23年10月17日開催の取締役会において、下記内容の設備投資計画について決議いたしました。

1. 設備投資の目的

当社工場の老朽化に伴い、自然災害による被災リスクの分散に対応するとともに、近年増加している大型機械製造のインフラの拡充及び将来における優秀な人材確保のための魅力的な生産拠点として、新たに工場を増設するものであります。

2. 設備投資の内容

名 称	株式会社菊川鉄工所サン・サポート・スクエア伊勢工場（仮称）
所在地	三重県伊勢市朝熊町（産業用地「サン・サポート・スクエア伊勢」内）
敷地面積	31,493㎡
建物面積	8,000㎡（工場及び事務所）
総投資額	約12億円（うち土地取得価額約3億円）
資金計画	自己資金を充当予定
生産品目	木工機械及び工作機械

3. 設備の導入時期

(1) 固定資産（土地）取得の日程

取締役会決議	平成23年10月17日
売買契約書締結	平成23年11月9日（予定）
物件引渡	平成23年11月30日（予定）

(2) 新工場増設の日程

建物着工	平成23年12月10日（予定）
竣工	平成24年4月30日（予定）
生産開始	平成24年5月1日（予定）

4. 当該設備投資が営業・生産に及ぼす影響

当該固定資産の取得による平成24年3月期の業績に与える影響は軽微であります。